

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	運動学実習	必修	2年前期	30コマ・60時間	
担当教員	渡邊悠馬、武藤友和、 中村由美	背景	作業療法士歴7年		
授業形態	実技	実務家教員 である			
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	参考書:基礎運動学 第6版(医歯薬出版) 人間の運動学(協同医書出版社) 姿勢・動作・歩行分析(羊土社) 症例動作分析				
<b>授業概要</b> 身体の動きを動作分析ソフトを利用することで運動学的データを客観的に評価・分析を行う。グループワーク形式で行い、データをまとめて最後にプレゼンテーションを行う。(武藤担当分) 作業療法を実践できるようになるために、身体の運動について体験学習をする。(渡邊他担当分)					
<b>狙いと到達目標</b> 人の動きを客観的な数値として理解・説明することができるようになる。グループワークを通して共同作業を行いコミュニケーション能力の向上を図る。(武藤担当分) 自身の体を使って正常とは異なる運動の真似をし、運動学的視点で運動分析を行い記述できる。運動分析の結果からできない原因を考察し治療プログラムにつなげることができる。(渡邊他担当分)					
<b>授業において実務経験をどのように生かすか</b> 人間の動きを客観的に評価・分析して治療プログラムに繋ぐため、実臨床で培ってきた経験を生かす。					
<b>授業計画・内容</b>					
1	オリエンテーション、運動学的用語・表現の復習				
2	歩行用語・正常歩行の復習、歩行計測(1)				
3	歩行用語・正常歩行の復習、歩行計測(2)				
4	動作分析ソフトの説明、計測動作の説明、動作計測(グループ毎)				
5	動作分析ソフトの説明、計測動作の説明、動作計測(グループ毎)				
6	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
7	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
8	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
9	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
10	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
11	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
12	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理				
13	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理、プレゼンテーション準備				
14	動作分析ソフトを使用しての解析、データ処理、プレゼンテーション準備				
15	分析結果のプレゼンテーション(グループ毎)(1)				
16	分析結果のプレゼンテーション(グループ毎)(2)				
17	オリエンテーション 基本事項の確認				

1~16回目 武藤担当
----------------

18	姿勢・動作とは①(背臥位・寝返り)	17～22回目 渡辺担当
19	姿勢・動作とは②(起き上がり)	
20	姿勢・動作とは③(座位・立ち上がり)	
21	動作の記述(映像)①	
22	動作の記述(映像)②	
23	動作の記述(第1セッション)①	
24	動作の記述(第1セッション)②	
25	動作の記述(第1セッション)③	
26	動作の記述(第2セッション)①	23～30回目 渡辺・中村担当
27	動作の記述(第2セッション)②	
28	動作の記述(第2セッション)③	
29	レポート作成(動作の記述)	
30	フィードバック	
評価方法	レポート、グループワークでの活動	
自由記述 (メッセージ)		

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	保健医療福祉概論	必修	2年前期	10コマ・20時間	
担当教員	藤田則貴	背景	養護学校教員3年+高齢者福祉施設開設		
授業形態	講義	実務家教員 である			
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	日本ヘルスプロモーション理学療法学会編『理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション 理論と実践』南江堂				
<b>授業概要</b> 我が国の保健・医療・福祉の現状を概観し、医療福祉の専門職として求められる知識や技術等を学ぶとともに、今後の保健・医療・福祉の展望と課題についても理解を深める。					
<b>狙いと到達目標</b> ・保健・医療・福祉の領域に必要な関連法や制度、社会資源について理解ができるようになる。 ・保健・医療・福祉の領域のサービス内容について理解できるようになる。 ・保健・医療・福祉の領域に関連する専門職との連携などについて理解ができるようになる。					
<b>授業において実務経験をどのように生かすか</b> 養護学校の教員の経験(病弱養護学校に2年、知的障害の養護学校に1年)を活かし、特に福祉の現場で対象となる利用者への対応を、実践を交えながら講義や演習の中に活かしていく。また、認知症高齢者のグループホームの立ち上げにも携わった経験から、高齢者の気持ちや行動の意味付けを実践を交えながら併せて講義や演習の中において活かしていく。					
<b>授業計画・内容</b>					
1	社会福祉とは				
2	医療福祉の概念(医療福祉の意味・医療ソーシャルワークの概念を理解する)				
3	医療保障制度と国民の健康(医療制度・医療保障制度の仕組み)				
4	介護保険制度と医療福祉(介護保険制度と医療給付)				
5	医療福祉の援助を必要とする人々(医療福祉の援助を必要とする人々に対する相談・援助)				
6	医療福祉援助の方法と技術(ケースワーク、グループワーク、ケアマネジメントの実際など)				
7	医療ソーシャルワーカーの業務内容(分野別におけるサービス・援助方法)				
8	医学的リハビリテーション、ソーシャルワーカーの業務内容(医学的リハビリテーション、ソーシャルワーカーの業務の分類)				
9	精神科のソーシャルワーカーの業務内容(精神科のソーシャルワーカーの業務)				
10	今後の医療福祉の展望と課題(保健・医療・福祉の連携)				
	まとめ(保健・医療・福祉の領域のまとめと振り返り)				
評価方法	講義だけでなく、演習も行っていきますので、その参加度、レポート課題の提出、科目認定試験を総合的に判断し、評価を行う。				
自由記述 (メッセージ)	活字離れが指摘されている現代、新聞などで、活字に触れ、常に社会の情勢について目配り、気配りできるように心がけて日常生活を送るように心がけてほしい。				